



広報リポーターの突撃取材!



元気を願う  
施設でとら舞

無病息災を願って施設を訪問

9月18日、備前組が今年も介護施設等で音頭やとら舞を披露。虎にふんした中学生が、頭をかみ「元気でね」と耳打ちすると、利用者は笑顔で喜んでいました。備前組ではお祭りに来られない方との交流を大切にしています。(小倉利之リポーター)



夏井中生  
稲刈りに汗

ハセ掛けに汗を流す生徒

夏井中学校の1年生33人は9月16日、5月に植えた稲の稲刈りを行いました。生徒は、農家の方々に教えられながら、立派に育った稲の手刈り・束ね・運搬・ハセ掛けと一連の作業を行い、さわやかな汗をかいていました。(梅沢政隆リポーター)

B-1 目指し足掛かり

まめぶ部屋が東京でPR

郷土料理まめぶでのまちおこし活動を展開する久慈まめぶ部屋(小笠原巨樹部屋頭)が9月18日、19日に東京都でまめぶのPRを実施しました。

9月15日、出発前に会員6人が市役所を訪問。小笠原部屋頭は「まめぶで久慈をPRしたいです。B-1グランプリ出場を目指して頑張ります」と山内隆文市長に決意表明。山内市長も「頑張ってください」と激励しました。

同部屋は18日に春日野部屋といわて銀河プラザで、各100食分まめぶを振る舞い、19日は出場条件の一つとなるB-1グランプリの視察を実施。まめぶの全国発信に向けた足掛かりをつくりました。



B-1 出場に向け意欲満々の会員(左から3人目・小笠原部屋頭)



1/個人戦高校以上男子の部決勝戦・豪快な払い腰で優勝を決めた長根くん

2/柔道教室で、得意の背負い投げのポイントを解説する古賀氏

3/超満員の会場は熱気でいっぱい

4/団体戦中学校女子の部を制した長内中



強豪700人が熱戦展開

三船十段杯争奪柔道大会

東北各県の強豪選手が集う第48回三船十段杯争奪柔道大会は9月5日、市民体育館で開催されました。小学生から一般まで700を超える選手が参加し、熱戦を展開。豪快な技が決まるたびに、満員の会場には気合いと歓声が響きわたりました。

本市選手も全8部門に出場し、団体戦中学校女子の部で長内中学校が、同高校以上女子の部で久慈高校が優勝しました。長内中の橋場瑠璃子さん(3年)は「中学最後の大会。次は後輩に頑張ってもらいたいです」と笑顔。会心の一本勝ちで、大会No.1を決める個人戦高校以上男子の部を制した本市出身の長根巧貴くん(盛岡中央高3年)は「地元で優勝できて最高にうれしいです」と興奮していました。

大会前日には小・中学生を対象に柔道教室も開催。バルセロナ五輪柔道71kg級メダリストの古賀稔彦氏が、技を上達させるためのポイントを丁寧に解説し、「日本一になれば、日本一への努力を」と訴えました。

8月の開花に驚き!

繋にヤマザクラ

山形町繋の漆久保善一さん所有地のヤマザクラが、春に続いて開花しました。漆久保さんが開花に気付いたのは8月27日。その後、徐々に花が増え、9月上旬には何十輪もの花を咲かせました。

漆久保さんは「初めてのことで驚き。良い知らせだとうれいですね」と笑顔を見せていました。



きれいな花を咲かせたヤマザクラ(9月9日)



左から・児嶋利花さん、小上眞理子さん、田高厚子さん、大屋公子さん、荒津前ミツエさん

意気込む女性消防団員  
制服交付を市長に報告

3月と5月に市消防団に入団した本市初の女性団員5人が9月14日、市役所を訪問。日本消防協会から制服の交付を受けたことを山内隆文市長に報告しました。

荒津前ミツエさんは「一人暮らし世帯への防火指導など、男性では難しい部分などで力を発揮したいです」と意気込んでいました。

命を救う連携深める

防災ヘリ合同訓練

久慈消防本部、県防災航空隊と災害現場で対応する医師・看護師で構成する久慈病院DMA T隊は8月30日、平沢ヘリポートで救急救助合同訓練を実施しました。

訓練は、山岳地帯で事故にあった傷病者を防災ヘリで救助するという想定。約40人が訓練に臨み、命を救うため連携を深めました。



傷病者をヘリから降ろし、救急車に向かう救急隊



「私の歩んだ道」と題し講演した大井さん

健全育成に千人参加  
県PTA研究大会

子どもの健全育成を目指し、PTA会員が意見を交わす第39回岩手県PTA研究大会久慈大会は9月4日、アンバーホールで開催。約1,000人が参加しました。

テーマごとの分科会後は基調講演。北京パラリンピック円盤投げ銅メダリストの大井利江さんが、夢を追う大切さを熱弁しました。

路線整備に一致団結

久慈岩泉線同盟会

9月6日、主要地方道久慈岩泉線整備促進期成同盟会(会長・伊達勝身岩泉町長)が設立されました。市役所で開かれた設立総会には山内隆文市長など約30人が出席。久慈市と岩泉町が一致団結して、交通の難所となっている大月峠など同路線の整備促進を要望していくことを誓いました。



整備促進に向け、一致団結した設立総会



山内隆文市長に目録を手渡す十文字社長

感謝込め地域に還元  
十文字から寄附金

9月6日、(株)十文字チキンカンパニー(十文字保雄社長)から200万円が市に寄附されました。

同社は、創業50周年を記念して本市のほか関係6市町村に同額を寄附。十文字社長は「お世話になっている地域に少しでも還元できればうれしいです」と感謝を込めていました。